



# あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2012.12月号

プラネタリウム新番組

## 2013年の天文現象



1996年3月に見られた百武彗星。今回の彗星もこのような立派な姿を見せてくれるでしょうか？

2012年12月1日（土）～2013年1月27日（日）土・日曜日、12月26日（水）、27日（木）  
午前11時～ / 午後2時～（各回50分）  
観覧料：200円（18歳未満・65歳以上無料）

2012年は金環日食・金星の太陽面通過・金星食などなど…天文現象の当たり年でした。では2013年はどうでしょう…？。

2013年は派手な天文現象こそ少ないものの、“一期一会”という言葉がぴったりの天体が見られそうです。それは、“ほうき星”とも呼ばれる彗星。2013年は「望遠鏡を使わなくても見られるほど明るくなる」と予想されている彗星が春と冬に2つやってきます。その名はパンスタース彗星とアイソン彗星。彗星の明るさ予想は水物で、その通り明るくならないことも多々ありますから、油断は禁物です。それでも期待は大ですね。2013年は「大彗星の年」となるのでしょうか？

新番組では、これら2つの彗星の見え方のほか、2013年に見られる天文現象や見ごろを迎える惑星などを、プラネタリウムのシミュレーション機能をつかってご紹介します。2013年の天文現象、見逃さないためにぜひ一度、プラネタリウムで予習しておきましょう！

# 博物館 秋の行事模様

秋期特別展「くらしの今昔 ～電気・ガス・水道がなかった頃の道具たち」開催に合わせて、イブニング・ミュージアム・ウィークをはじめ博物館では多くの行事が開催されました。その様子を、少しご紹介します。

## 秋のイブニング・ミュージアム・ウィーク

11月6日(火)～11日(日)、開館時間を午後7時まで延長し、「あかりとエネルギー」をテーマにした講演や体験行事など、様々な催しが行われました。



←地質分野と歴史分野は「エネルギー」をテーマに  
↓講演会を開催。



←民俗分野のむかしの灯り体験ではランプや行灯の灯りを体験。  
✓ もみぎり VS 火打石、学芸員のプライドをかけた(?) 火付け  
対決もありました。



↑天文分野の身近なもので電気を作ろうでは、  
冷蔵庫の脱臭剤(活性炭)などを使って電気を起こしました。

## 1日むかしの暮らし体験

11月18日(日)に開催された「1日むかしの暮らし体験」。たくさんの親子連れでにぎわいました。洗たく板での洗たく、かまどでのご飯炊き、ぞうきんがけや火のしをつかったアイロンがけなど、貴重な体験ができたのではないのでしょうか。

→  
洗たく板で洗たく。  
寒い日はたいへん!  
汚れはちゃんと落ち  
たかな?



ご飯はかまどに火を起こして炊きます。  
おいしく炊けたかな?

↓



↑もちろん掃除機なんてありません。  
ぞうきんで水ぶきです。これも冬はつらい!

## 師走の寄贈品コーナー 「相州だるま展」

会期：12月1日(土)～27日(木)



だるまといえばお正月の縁起物。神奈川県のだるま市はおそらく全国で一番早く、12月を中心に開かれます。平塚市では21日の中原市を皮切りに30日の大久保公園の市まで、連日のように各所にだるま市が立ちます。

県内の縁起だるまは、明治30年頃に平塚市四之宮で発祥し、今も市内の3軒が製造するだるまが県内中で売られます。

並だるま、金目だるま、おかめだるまなど、華麗な相州だるまの数々をご観覧ください。

←相州特産、目に真鍮を貼りつけ、ひげを植えつけた“金目だるま”

12月

1	土	星まつりを調べる会	科学教室	☆	秋期特別展「くらしの今昔」 電気・ガス・水道がなかった頃の道具
2	日			☆	
3	月	休館日			
6	木	展示解説ボランティアの会	講堂		
7	金	古文書講読会	講堂		
8	土			☆	
9	日	平塚の古代を学ぶ会	講堂		
	○	平塚学講座 歴史分野	講堂		
10	月	休館日			
11	火	地質調査会	工作室		
13	木	石仏を調べる会	特別研究室		
		古文書講読会	講堂		
14	金	お囃子研究会	講堂		
	◎	星を見る会	科学教室		
15	土	古代生活実験室	科学教室		
		地域史研究ゼミ	特別研究室	☆	
		平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室		
16	日	○体験学習「お飾りをつくろう」	講堂		
	◎	ろばたばなし	相模の家	☆	
		相模川の生い立ちを探る会	科学教室		
17	月	休館日			
19	水	民俗探訪会	特別研究室		
		裏打ちの会	科学教室		
20	木	展示解説ボランティアの会	講堂		
21	金	古文書講読会	講堂		
		お囃子研究会	講堂		
22	土	天体観察会	科学教室	☆	
	◎	特別展展示解説	特別展示室		
23	日	○平塚学講座 考古分野	講堂	☆	
24	月	振替休日開館日			
25	火				
26	水			☆	
27	木			☆	
28	金				
29	土				
30	日	休館日			
31	月				

1月

1	火	休館日			寄贈品コーナー「くらしの中の火」(1月30日)
2	水	休館日			
3	木	休館日			
4	金				
5	土	星まつりを調べる会	特別研究室	☆	
		天体観察会スターウォッチング	科学教室		
6	日	○平塚学講座 民俗分野	講堂	☆	
		天体観察会スターウォッチング(予備日)	科学教室		
7	月	休館日			
10	木	石仏を調べる会	特別研究室		
		古文書講読会	講堂		
11	金	◎星を見る会	科学教室		
12	土	天体観察会	科学教室	☆	
13	日	平塚の古代を学ぶ会	講堂	☆	
		天体観察会	科学教室		
14	月	祝日開館			
15	火	休館日			
16	水	民俗探訪会	特別研究室		
		裏打ちの会	科学教室		
17	木	展示解説ボランティアの会	講堂		
18	金	古文書講読会	講堂		
		お囃子研究会	講堂		
		星まつりを調べる会	講堂		
19	土	古代生活実験室	科学教室	☆	
		地域史研究ゼミ	特別研究室		
		平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室		
20	日	相模川の生い立ちを探る会	清澄庭園	☆	
	◎	ろばたばなし	相模の家		
21	月	休館日			
22	火	地質調査会	工作室		
24	木	石仏を調べる会	特別研究室		
25	金	古文書講読会	講堂		
26	土	お囃子研究会	講堂	☆	
27	日	○平塚学講座 生物分野	講堂	☆	
28	月	休館日			
30	水				
31	木				

☆: プラネタリウム投影日 ○: 申込制行事 ◎: 参加自由 無印: 年間会員制

展示・プラネタリウムと行事

<特別展と関連行事>

☆秋期特別展

「くらしの今昔 ~電気・ガス・水道がなかった頃の道具たち~」

期間: 12月24日(月)まで

○特別展展示解説

日時: 12月22日(土) 午後1時~1時50分

<寄贈品コーナー>

☆「相州だるま展」

※詳細は本誌3頁参照

<プラネタリウム>

☆プラネタリウム番組「2013年の天文現象」

※詳細は本誌1頁参照

<申込制の行事>

○体験学習「お飾りをつくろう」

日時: 12月16日(日) 午後1時~午後4時

申込: 往復はがきに住所、氏名、電話番号を記入し、12月6日(木)までに申し込む。

申込: 50人(応募多数時抽選)

<自由参加の行事>

◎星を見る会「木星と冬の星を見よう」

日時: 12月14日(金) 午後7時~午後8時30分

場所: 科学教室・屋上

◎ろばたばなし

内容: 民家のいろいろばたで昔話を語ります。

日時: 12月16日(日) (1)午後1時20分、(2)午後3時

場所: 展示室1階「相模の家」

12月の休館日: 3日、10日、17日、29~31日

あなたと博物館 40巻9号 通算432号 発行 平塚市博物館 2100

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949

E-Mail: info07@hirahaku.jp ホームページ http://www.hirahaku.jp/